

教育委員会だより

第43号 (令和7年9月～12月)

発行者
池田町・養基組合教育委員会
池田町六之井1468-1
tel. 0585-45-3111 fax. 0585-45-8314
e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

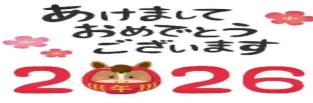
研究発表会の授業から

教育長 高橋利行

先日温知小学校で研究発表会が行われました。この紙面にも教育委員の方から報告をしていただいています。授業終業後、各教室を回り、授業の板書を見せてもらいました。各学年とも2クラスなり3クラスの板書がほとんど同じように書かれていました。マニュアルがありそれと同じように書いたのだと思われるかもしれませんが、私は、その学年の授業を担当した教師が、事前に相談して授業の進め方を研究した結果だと見ました。各クラスとも児童が異なり反応も異なりますし、教師の持ち味や力量も異なります。しかし、その1時間の目標を教師同士で確認して定め、その目標を達成するための手順の打ち合わせがきちんとできていると感じました。教師同士での共同作業としての授業が構成されていくことの素晴らしさだと思います。会社や研究室の場面でも最近は何々でなくチームで対応しているのと同じです。

近年子どもが多様化しています。多様な児童に対応していくために、教師は複数の目で多方面から子どもを観察しながら方向性を持つて個々の児童に丁寧に対応していく必要があります。そのためにもなるべく多くの教師が子どもに関わることが重要だと思います。

池田町では、本年度からの教育ビジョンで「子どもたち同士のおふれあいを通して



て『生きる力』を育む」と謳っています。子どもたちだけでなく教師も互いに相談をしながら切磋琢磨できる環境にしていくことが必要ではないでしょうか。

全国学力学習状況調査の結果より

4月18日に小6、中3を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的にしています。まず、教科に関する調査（小学校は国語・算数・理科、中学校は国語・数学・理科）の池田町・養基組合教委管内の正答率は、小学校中学校ともに県平均よりもやや低い学校もありました。

小学校の質問紙調査の学習面では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」「分からないとき、あきらめずにいろいろな方法で考えている」の回答率が上がっていました。あきらめず、主体的に学習に取り組もうとする意識は高まってきているので、学校では、主体性を大切にしつつ、基礎・基本が定着するように習熟を図ったり、根拠を明確にして自分の考えを表現できるように指導したりして、学力向上に取り組んでいきます。

また、質問紙調査の生活面では、「学校へ行くのは楽しい」「自分には、よいところがある」と回答している子が増えています。逆に、「将来の夢や目標をもっている」の回答率がやや低い状況です。引き続き、よいところを具体的に認め、励

まして、どの児童生徒も「自分のよき」を自覚し、夢や希望、目標をもてるような指導の工夫をしていきます。

調査より、読書習慣や基本的な生活習慣が身に付きつつある児童生徒が多いので、今後もより家庭や地域の協力を得ながら指導を進めていきます。よろしくお願ひします。

初任者研修を行いました

8月22日に初任者研修会が開催され、本年度の初任者教員5名が参加しました。

まず、教育長よりあいさつがあり、教師は子ども的人格形成に関わる尊い職業であり、それだけに子どもの人権を尊重する教師としての倫理観が問われ続けているというお話がありました。

また、教育センター主幹からは、池田町「教育の方針と重点」についての説明がありました。

その後、初任の先生方から、5ヶ月を振り返ったの成果と課題について発表があり、教育委員との意見交換が行われました。

先生方の発表では、子どもたち一人ひとりに向き合い、寄り添うことで信頼関係を築いていくことや、主体的に学ぶ力を育むために教師として努めるべきことなど、それぞれが課題意識を持って取り組んでいることがわかりました。

委員からは、子どもとの関わりの中で教師も学び、人間として成長することや、教材研究を怠ることなく専門性を高めていくことが重要であるなどの意見が出されました。

研修では、主幹教諭による「いじめ対応研修」や、大垣消防組合北部消防署員による「実技救命講習」も行われました。今後の一層の活躍を期待しています。

温知小研究発表会の開催

11月26日、池田町・養基組合教育委員会指定の研究発表会が温知小で開催され、町内の小・中学校と養基小の全教職員が参加しました。

また、郡教育委員会連絡協議会の研修会として、揖斐川町、大野町、池田町・養基組合の教育長、教育委員の20名も参観させていただきました。温知小では、研究テーマを「学びに向かい、学びを繋ぐ児童の育成」と掲げ、全学年の算数の授業が公開されました。熱心にメモを取りながら参観されている先生方の姿が印象的でした。研究会では、中学校の先生方も積極的に感想を述べてみました。感想の一部を紹介します。



- ・ のびのびと学習に向かっている姿や友だちにやさしく教えている姿が多く見られました。
 - ・ 1年生では、授業前の学習活動を児童が進めていて驚きました。
 - ・ 中学年ではノートやホワイトボードに書く文字が丁寧でした。
 - ・ 5年生では、三角形の面積の求め方をタブレットを使って上手に交流していました。
- 特別支援学級の授業が公開されなかったことに寂しさを感じました。次回に期待しています。

市町村教委連絡協議会研究総会が 開催されました

11月7日、郡上市総合文化センターで、「令和の日本型教育推進に向けて教育委員の使命」をテーマとし、県内の全教育委員、教育長、教育委員会関係者が参加し、総会・講演会・分科会が行われました。

総会では、県教育長から第4次教育計画の取組として、不易の部分は大切にしつつ感性を大切にしたい教育を目指すことや県知事が目指す教育について話されました。

続いて、Global Mobility Service株式会社代表取締役CEO 中島徳至氏による

「グローバルで挑む原動力とは ～起業家の視点から読み解く、これからの教育～」

という演題で講演がありました。

飛騨金山で生まれ、起業家として現在に至る経歴の話の中で、教育とも重なる考えについて、「勉強とは、与えられたことをするのはなく、やりたいうことをむさぼりつくようにやることである」「教育は、挑戦を促す場でないればならない」「教育の主役は、先生である」など、中島氏ご自身の経験から熱く語られました。



午前最後のアトラクションは、郡上市立八幡中と郡上市立白鳥中の生徒の皆さんによる『郡上踊』と『白鳥踊』の披露がありました。郷土芸能に誇りを持ち、継承していくこうとする思いが強く感じられました。

午後からは、4つの分科会に分かれ、実践交流会が行われました。今年は、第3分科会において池田町教育委



義な時間を過ごすことができました。

員会が「地域学校協働活動『池田つ子チャレンジ教室』活動について」地域講師の助力のもと、興味・関心の芽を育て自発的な学ぶ力の育成」というテーマで実践発表を行いました。

終日の研修総会に参加し、大変有意

海津市教育委員会を視察しました

10月7日、海津小を訪問し、海津市教育委員会や学校関係者の皆さんと意見交換を行いました。

はじめに両教育委員会から挨拶があり、その後、校舎や施設を見学しながら学校の様子について説明を受けました。海津小学校からは、学校の考え方や、統合により一つになった5校の文化の受け継ぎ方、地域の方々との関わり、新しいPTAの取組について紹介がありました。また、統合に伴う整備工事の内容やスクールバスの運行状況について説明を受け、私たちからのいくつかの質問にお答えいただきました。



南部校長会との合同会議を開催

11月10日、南部校長会と教育委員会との合同会議を行いました。今回は、「学校の在り方」についてのアンケート結果を踏まえ、「1学級の児童・生徒数」「不登校児童・生徒に対する対応」等について話し合いました。

各学校の現状を聞きながら、各校長先生の考え方、各教育委員としての考え方を意見交換しました。生徒・児

児童の多い場合の支援員の有効な活用、また、不登校児童・生徒に対しての学校内だけの対応に留まらない各場面での幅の広い積極的な対応等、を中心とした多くの意見が出されました。



それぞれ一朝一夕に結論が出る問題ではなく、今後もより多くの検討が必要ですが、問題点が明確になり、改善に向けての積極的な対応の必要性をより意識する良い機会となりました。

教育委員会学校訪問を行いました

9月17日に養基小、19日に八幡小、22日に池田小、24日に宮地小、26日に池田中、29日に温知小に教育委員会訪問を行い、学校の子どもの様子を参観しました。

温知小では

はじめに校長先生から本年度の指導方針について説明がありました。その中で「誰一人取り残さない指導」を充実するために、「伝えること」「うなずいて聞くこと」を職員間で共通に取り組んでいるそうです。

その後、全学級の授業を参観し、以下のような感想が出されました。

・今年6月の参観の時に比べると、落ち着いて学習する児童の姿が多く見られました。先生方のご努力に感謝します。

・学年ごとに共通した指導が展開されており、経験豊富な先生と、若い先生のペアがうまく機能していました。町内の児童数の減少のなか、1学年に複数学級があることよさを特に感じました。

・大型テレビを活用した授業は多く見られましたが、タブレットを活用する授業はあまり見られませんでした。特に、調べ学習の場での利活用について職員研修の必要性を感じました。



・特別支援の学級は、教師と児童の関係に温かさが見られました。これからも児童の自立を目指した指導を継続されることを期待しています。

池田小では

はじめに、校長先生から各学年の様子についてお話を伺いました。

その後、全学級の授業参観では、一人ひとりが自分の考えを整理しながら授業に取り組んでいました。グループ活動では友達と意見を交換し、互いに助け合う姿がとても温かく感じられました。先生の声かけも丁寧で安心して学べる雰囲気がありました。ICTの活用と対話型の学びがうまく組み合わさっていました。



宮地小では

最初に学校から、夏休み明けは一人の欠席もなく授業がはじめられたこと、夏休みの作品展が児童家族の出席が多く大変盛況であったことの報告がありました。また、学力状況調査の結果を踏まえて「国語は表現力」「算数は図形」「理科は実験」について、今後、より意識して

授業を進めていきたいといったお話がありました。

授業参観では、1年生から4年生までの算数、5年生の国語、6年生の外国語の授業を参観しました。各授業からは、児童数が少ないこともあり一体感のある授業が行われていること、ICTが効率よく使われていること等が感じられました。また、すべての授業で「かぎカード」「終末の流れ」が強く意識されていることがうかがえました。



八幡小では

最初に、校長先生から夏休み明けの児童の様子についての説明がありました。9月初旬は例年以上の猛暑が続いていたので、20分休みを朝にもつてくる等、日程変更をして熱中症対策をしていることをお聞きしました。



その後、全学級の授業を参観し、教育委員会から次のような意見が出されたので、紹介します。

・ベテランの先生が子どもたちを学習に引き付ける素晴らしい働きかけをされていた。元気に語り掛けたり、時には静かに間をとったりして、子どもたちの考えたい、やってみたいという学習意欲を高められていた。そうした指導を若い先生方が学び、より指導力の向上に努めていってほしい。

・ペア学習の場が設けられ、互いの考えを交流していた。すぐに交流するより、まず自分の考えをもった方がよい

時もある。より深い学びにするために、交流の場面やタイムリングを考えていけるとよい。

・算数の計算領域など時間配分を工夫し、練習問題を解いて見届ける時間を設け、確実に基礎的な学力の定着を図ってほしい。

養基小では

はじめに校長先生より学校の教育目標に関する説明や、夏休み明けの子どもたちの様子についてお聞きしました。教職員間で子どもたちが学習で苦手としている分野を分析して情報共有を行い、成果として身につく授業づくりを目指していること等についてお話がありました。また、保護者による養基小マスコットの立体作品が展示されるなど、保護者や地域の方々とのつながりが感じられました。



次に授業を参観し、各委員から感想が出されました。どの学年も全体的に授業に集中しており、仲間の発表や先生の話によく耳を傾けていて、学習に取り組みやすい雰囲気づくりができています。

・タブレット画面のフリーズトラブルはあったが、子どもたちの学習意欲を止めないような先生や支援員の対応が見られた。

・少人数で活発に意見交流しながら学び合う姿と、全体で意見を共有し授業のまとめをする姿とで良いメリハリが見られる。

・教師からの言葉かけが丁寧であり、子どもたちとの温かい人間関係が築かれており、それが授業の楽しそうな雰囲気に出ています。

池田中では

はじめに校長先生から後期学校経営計画の改定版についてお話を伺いました。基礎学力が十分付いていない子がいることが学力・学習状況調査から分かってきたので、教科部会ごとに互いの授業を見合せて教師同士が学び合い、分かるところ。できる授業を目指しているそうです。



授業では、今年度転入された先生を中心に参観させていただき、その後、懇談会で以下のような意見が出されました。

・全体的に落ち着いて授業をしていたが、一部課題に取り組みうとしない姿も見られた。先生の机間指導の在り方、よりよい授業を目指した生徒同士の声の掛け合い方を等さらに工夫し、誰一人として取り残さない指導を目指してほしい。

・タブレットを当たり前のように使用し、音楽でも作曲に用いる等、ICTの有効活用がされていた。書いたことがすぐ消え、残せない弱点があるので、ノートのように見返せないこともある。場に応じた活用の仕方も考えてほしい。

・少子化、学級数の減により教科部会で学び合う機会が持たない中学校も多い中、まだ職員数の多い池田中の強みを生かし、より有効な指導方法を具体化してほしい。

・先生方が生徒たちとよい関係を築いてくださっており、多くの生徒たちが安心して中学校生活を送っていることが伝わってきた。

教育委員会の主な活動報告 令和7年9月～12月

| 日付 | 活動 | 場所 |
|-------|----------------------|-------------|
| 9月17日 | 教育委員会学校訪問 | 養基小学校 |
| 19日 | 〃 | 八幡小学校 |
| 22日 | 〃 | 池田小学校 |
| 24日 | 〃 | 宮地小学校 |
| 26日 | 〃 | 池田中学校 |
| 29日 | 教育委員会学校訪問 合同教育委員会 | 温知小・庁舎会議室 |
| 10月7日 | 海津市教育委員会視察 | 海津小学校 |
| 20日 | 池田町・養基組合合同教育委員会 | 庁舎会議室 |
| 11月7日 | 岐阜県市町村教育委員会連絡協議会総会 | 郡上市総合文化センター |
| 10日 | 校長会との合同会議 合同教育委員会 | 庁舎会議室 |
| 26日 | 池田町・養基組合教育委員会研究発表会 | 温知小学校 |
| 〃 | 郡教育委員会連絡協議会研修会 | 〃 |
| 12月2日 | 初任者研修会 | 庁舎会議室 |
| 4日 | 合同教育委員会 教育委員会だより編集会議 | 〃 |

編集後記

年々猛暑の度合いが増し、「地球温暖化」から「地球沸騰化」という言葉も聞かれた今年の夏でした。学校では、日課を変更する等、暑さ対策を講じながら練習を進め、10月に無事運動会、体育祭を開催することができました。

教育委員会では、9月に学校訪問を実施しましたが、先生方が児童生徒と信頼関係を築き、子どもたちが安心して学校生活を送っていることが伝わってきました。

11月の温知小の研究発表会では、研究テーマを「学びに向かい、学びを繋ぐ児童の育成」と掲げ、全学年の算数の授業が公開され、のびのびと学習に向かっている姿や友だちにやさしく教えている姿を見せていただきました。

今後も教育委員会だよりでは、活動状況を発信していきますので本日よりについてお気付きの点があれば、お知らせください。

編集担当：林啓子・勝野茂優

